

フォーサイト



本社・フォーサイトビル（文京区本郷）

- 本社所在地：東京都文京区
- 事業概要：資格取得（宅建・行政書士・社労士・FP・簿記・ITパスポート等14講座）の通信教育の企画・制作・販売
- 常時使用する従業員：35名（2026年9月時点）
- 現在の売上高：12億円（2025年12月期）
- 法人番号：8010001101986
- Web：https://www.foresight.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
山田 浩司

「学び」で人生を豊かに

フォーサイトは33年にわたり、宅建・行政書士・社労士など14の資格講座を通じて累計45万人以上の学びを支え、第三者確認（AUP）を経た高い合格率を強みとしてきました。テキスト・問題・講義動画をAIで自動作成する自社技術と45万人分の学習データを土台に、資格講座から受験・幼児教育・企業研修まで「全世代の学び」へ事業を広げ、一人ひとりに最適な学習を月額定額で届ける「学びの定額配信プラットフォーム」を目指します。教育で得た成果を社員の処遇改善と社会に還元しながら、仲間とともに100億企業を実現します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2035年に売上高100億円達成に向け、2027年以降、年率25%程度の成長を目指す。

- ・2026年：売上高13.4億円（見込）
- ・2027年：講座を14→27へ拡大
- ・2031年：42億円（中間目標）
- ・2035年：100億円（内訳：資格・検定52／受験・幼児教育・通信制高校27／法人・出版・海外等21）

課題

- ・AI教材の量産体制と、講師・責任者が最終確認する品質保証体制の両立
- ・資格分野の認知を受験・幼児教育・企業研修など新領域の集客につなげる
- ・新規6事業の先行投資と採算管理（小規模検証を通過した事業のみ本格投資）
- ・通信制高校の認可・新検定の社会的認知の獲得と、財務基盤の強化

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・AI教材自動作成システム群（AIテキスト・AI問題作成・AI講義動画・学習アプリManaBun、特許出願中）で2027年に講座を14→27へ拡大し、2028年以降は大学～小学校受験・幼児教育へ毎年対象を拡大
- ・AIチューター・個別最適化学習の次世代ManaBunと統合顧客データ基盤で合格率・継続率を向上
- ・新規事業：出版（2027年）、AI活用力検定・企業実務研修・学習ゲーム・学習AIロボット（2028年～）、通信制高校（2031年）
- ・2033年に月額定額型へ収益モデルを転換し、2032年の海外日本語教師向け講座を足がかりに2034年に海外へ本格進出

実施体制

- ・社長直轄の「100億プロジェクト」を設置し、マーケティング・商品開発・システム・サポートの各部門長が参画
- ・開発はAIコード生成ツールを全面活用した社内チームと外部開発パートナーの複線体制。設計文書30本超を整備し属人化を排除
- ・教材等は講師・責任者の承認後に公開する品質体制。AI活用で一人当たり生産性を高める少数精鋭経営とし、生産性向上分を処遇改善に還元
- ・企業研修は大手ポータル運営会社と提携。特許事務所・金融機関・中小機構の伴走支援も活用

売上高100億円実現の目標（売上高の年次計画）

■ 実現目標

2035年に売上高100億円を達成する。2026年12月期の見込売上高13.4億円（前期比+10%）を起点に、2027年以降は年率25%程度の成長を続ける。

■ 成長の段階

第1期（2026～2027年）基盤強化と講座拡大：統合顧客データ基盤の完成、資格・検定講座を14→27講座へ拡大、出版事業を開始

第2期（2028～2032年）新規事業の一斉展開：大学～小学校受験・幼児教育へ毎年対象を拡大、検定・企業実務研修・学習ゲーム・学習AIロボットを開始、2031年に通信制高校を開校

第3期（2033～2035年）収益モデルの転換：月額定額（サブスクリプション）型へ転換し、海外へ本格進出。2035年に売上高100億円を達成

※グラフの数値は売上高（億円）。事業別の内訳は現時点の計画値であり、毎年度の経営計画で見直します。


100億
達成